

# スペクトラムサポート性リスク評価 (SSRA) の概要

BRIAN FARMER  
CONSULTANT  
EMC MANAGEMENT CONCEPTS

## はじめに

**新**時代の電子戦の最前線に身を置いている我々にとって、電磁スペクトラムの管理と使用はますます重要になってきている。実際、米国の国防総省 (DoD: Department of Defense) は、電磁スペクトラムを重要な資源と認識しており、国防総省指示書 4650.01 (DoD Instruction 4650.01) で、この資源を管理し使用する方針および手順の意味を明確にしている。

この文書の重要な内容の1つは、スペクトラムサポート性リスク評価 (SSRA: Spectrum Supportability Risk Assessments) の実行である。スペクトラムが過密になるにつれて SSRA の重要性は高まっており、業界の実務担当者は新しい機器とシステム用の新しい材

料要求の開発に際して最近の規則変更を認識しているはずである。SSRA は、スペクトラム証明と周波数割当プロセス対応に加えて、市販既製品 (COTS: Commercial-Off-the-Shelf) システムはもちろん、スペクトラムに依存する全システム調達に必要である。

SSRA の目的は、使用するシステムの必要な動作性能に影響する可能性のある規制や技術的案件および使用可能なスペクトラムの問題を特定・評価することである。例えば、新規または変更されたシステムはシステムの帯域幅要求事項が個別の国家周波数配分計画に従うという決定に加え、以下の内容に関しても評価が必要である。

- ・ 現在使用中あるいは運用環境で